

一般質問



谷口 議員

○新型コロナウイルスによる地域経済への影響と回復へ向けた本市の取り組みについて

質 地域経済への甚大な影響を踏まえ、経営維持支援金やプレミアム付商品券の販売等の各種施策が実施されている。今後もコロナによる影響を踏まえ、状況に応じた経済対策を打ち出すことが重要であると考え、市長のご所見を伺いたい。

市長 感染拡大の状況や市内経済への影響を見ながら、これまで実施してきた施策の効果の検証、さらに、国や県が実施する対策と併せ、その時々により必要と必要と対策を検討していきたいと考えています。

質 コロナの影響により、観光や飲食等の産業において需要の大きな減少や利用者の意識変化が指摘される中であり、今後の「アジフライの聖地」としての展望を伺いたい。

市長 コロナ禍の状況で観光の誘客を図るには、大変な手間がかかりますが、店舗と観光客の皆様双方の感染防止対策が重要です。その上で、おいしいアジフライの提供をそれぞれの店舗の皆様方に続けていただくことと併せて、アジフライグッズの開発として、今年度、モニタメント

制作やお菓子の開発、お土産品の開発を行い、さらなる誘客につなげたいと考えます。加えて、日本地域情報コンテンツ大賞2020で日本一の大賞を受賞した「meetsまつら」を全国に広げていく取組が必要だと思っています。広く松浦市の存在を知っていただき、地域のいろんな経済活動につながる行動をとっていただけるような取組を進めていきたいと考えます。

○子育て環境の充実へ向けた本市の取り組みについて

質 令和3年4月に県立佐世保特別支援学校の田平分校が開校予定となっている。保護者の送迎による通学となると負担が大きいのと考えるが、県に対してスクールバスの運行を要請すべきではないか。

福祉事務所長 県によると、北松分校はスクールバスを運行するための一定の要件を満たしていないと伺っています。

質 現在、市事業として佐世保特別支援学校まで通学支援バスを運行している。同校田平分校へも同様に支援バスの運行を検討すべきではないか。

福祉事務所長 今後、北松分校に通学する児童生徒が決定された後に、児童生徒の中で通学支援バスの利用を希望する方がいる場合には、北松分校への通学支援バスの運行を考えていきたいと思います。

一般質問



徳田 議員

○支所・公民館の改修について

質 福島公民館の現状は、和室の床はシロアリ被害、天井は雨漏り、建物の柱と壁はクラックがあり、避難所として危険と思われる。新築された学校体育館の活用は考えられないのか。

防災課長 関係機関とも調整し、最初に開設する避難所として、福島養源小学校と福島中学校の体育館に変更できないか検討したいと思っています。

質 松浦市の公共施設では福島支所が一番古く、福島公民館が二番目に古い。福島公民館より8年も後にできた調川公民館が先に新築された。福島支所は、福岡の西方沖地震でもクラックが増え、福島小学校の解体工事で壁が崩落した。非常に危険度が増している。また、平成30年の耐震機能診断で耐震性が無い結果となっている。早急に福島の支所と公民館の整備をするべきではないか。

会計管理者 公共施設等総合管理計画に基づき、今年度末までに個別施設計画をつくるようにしています。その個別施設計画の中で、福島支所と福島公民館を併設した施設をいつどのように造るかなどを検討していきます。

○公共交通網整備について

質 台風9号・10号で福島の福崎橋が壊れた。2、3人の利用でも住民福祉ではないか。災害復旧で早急に復旧できないか。また、復旧費はどのくらいか。

水産課長 台風により崩落した床板部分の原形復旧だけであれば公共土木施設災害復旧事業の活用之余地がありました。現状として鉄骨部の腐食が全体的に進行しているなど以前からの劣化部分が大変大きな問題で、それにかかる費用も多額になることから、床板の原形復旧だけでは安全性が到底確保されないと判断されたところです。また、復旧費についての詳細な設計や見積りはありませんが、当初の整備費からすると約1億1000万円と想定されます。

質 福崎橋の復旧ができないのであれば、福崎地区を含めた福島全体の公共交通網の整備が早急にできないか。

地域経済活性化課長 福島町の全体的な交通再編の中で、予約制乗り合いタクシー導入の取組をなるべく早く実現できるように取り組んでいきたいと思っています。

このほかに、「全島公園化について」「福島大橋の改良について」質問しています。